

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 コージンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 177A URL <https://kohjin-bio.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 孝人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 平田 賢二 (TEL) 03-5784-2272
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,923	10.7	675	82.0	740	86.2	516	149.6
2024年3月期第3四半期	3,544	—	370	—	397	—	207	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 528百万円(115.3%) 2024年3月期第3四半期 245百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	102.95	—
2024年3月期第3四半期	49.73	—

- (注) 1. 当社は、2023年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,636	5,467	63.3
2024年3月期	6,589	3,342	50.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 5,467百万円 2024年3月期 3,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	14.00	14.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,852	1.7	857	43.7	876	37.9	629	63.5	124.81

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は2024年4月24日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)により普通株式850,000株、2024年5月24日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出し)により普通株式96,600株を発行しており、その影響を考慮して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	5,111,600株	2024年3月期	4,165,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	一株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	5,021,891株	2024年3月期3Q	4,165,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に、個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要の増加等により、経済活動に持ち直しの動きが見られました。

世界経済においては、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊張による原材料価格やエネルギー価格の高止まり、欧米諸国における政策金利の引き上げによる為替相場変動が継続している中で、米国では大統領選挙が終了し、次期政権の減税による景気回復の期待がある一方で、中国では物価下落や消費の回復の遅れが続いているほか、米中関係の悪化懸念などにより、依然として先行きは不透明な要因が存在しております。

このような経済状況の中で、当社グループは感染症対策や再生医療の発展のために、経営理念に掲げる「顧客第一主義・品質第一主義」のもと、全社員がグループ全体の更なる成長とステークホルダーへの貢献に努めております。

当第3四半期連結累計期間において、売上高につきましては、新型コロナウイルスが5月から感染者数が増加、7月に感染拡大のピークとなり、さらに11月から年末に向けてインフルエンザウイルス感染者数の急増と新型コロナウイルス感染者数の増加が同時に発生したことから、関連製品の販売が大きく増加いたしました。また、アジア圏、特に中国における細胞培養用培地の旺盛な需要が継続しており、同製品群の販売が増加するなど、グループ全体で期初計画を上回って推移いたしました。一方、基幹システム変更に伴う支払手数料の増加等により販売費及び一般管理費が増加いたしました。利益につきましては概ね計画どおりとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,923百万円（前年同四半期比10.7%の増加）となり、営業利益は675百万円（同82.0%の増加）、経常利益は740百万円（同86.2%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は516百万円（同149.6%の増加）となりました。

なお、各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

（組織培養事業）

当第3四半期連結累計期間における組織培養事業は、日本で細胞治療を受ける外国人患者の増加が継続していることから、細胞加工施設を有する医療機関への細胞治療用の細胞培養用培地の販売数量が増加したことに加え、日本国内の再生医療研究の拡大により、自社ブランドKBM製品の販売が増加し、OEM製造の受託売上も増加いたしました。また、中国をはじめ、台湾、韓国、タイなど当社が販路を有するアジア地域での再生医療の研究開発や臨床試験が拡大しており、ここで使用される細胞培養用培地の販売数量も増加いたしました。

この結果、売上高は1,694百万円（同20.4%の増加）、セグメント利益（営業利益）は587百万円（同23.8%の増加）となりました。

（微生物事業）

当第3四半期連結累計期間における微生物事業は、新型コロナウイルス及び、インフルエンザウイルスの感染者数が増加したことにより、関連製品の販売が大きく増加いたしました。また、海外から輸入し、国内の販売権を有している体外診断用医薬品や理化学機器の販売も計画を上回りました。一方、細菌検査用培地については、臨床分野の製品の利益率の改善を進めるために、製品構成や価格の見直しを図ったことから、販売数量は若干の減少となりましたが、製薬企業等の産業分野での細菌検査用培地は、国産による高品質と安定供給を強みとして、計画どおりの販売実績となっております。

この結果、売上高は1,324百万円（同7.4%の増加）、セグメント利益（営業利益）は224百万円（前年同四半期は178百万円のセグメント損失）となりました。

(細胞加工事業)

当第3四半期連結累計期間における細胞加工事業は、日本で細胞治療を受ける外国人患者の増加に加え、国内患者も安定的に推移していることにより、細胞加工受託の需要は拡大しているものの、当社の細胞加工施設の稼働率が上限に近い水準となっていることから、細胞加工受託の売上は上限横ばいでの推移となっております。この状況に対応すべく、広島県に新設した細胞加工施設の稼働準備を進めておりましたが、本稼働の準備が整ったため、今後同施設も収益に貢献していくものと見込んでおります。

また、細胞加工関連製品について、原料の見直しによる影響で同製品の販売を一時中止としており、期初計画に比べ同製品群の売上は減少となっております。本製品については販売再開に向けた準備が進んでおり、当期中の販売再開を予定しております。

この結果、売上高は904百万円（同0.0%の増加）、セグメント利益（営業利益）は260百万円（同29.4%の減少）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,693百万円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への株式上場、及び第三者割当増資による新株式発行に伴う払込等により現金及び預金が1,439百万円増加したことや、抗原検査キット等の売上高増加により、受取手形及び売掛金が166百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は3,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円増加いたしました。これは主に、現在建設中の新倉庫に係る建設仮勘定の増加等により有形固定資産が244百万円増加したこと、及び持分法による投資利益87百万円の計上等により投資その他の資産が88百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2,047百万円増加の8,636百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が19百万円減少したものの、抗原検査キット関連の材料仕入等により支払手形及び買掛金が54百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債は743百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少いたしました。これは主に、広島県に新設した細胞加工施設に係る資産除去債務が36百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金112百万円を流動負債に振替えたことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ77百万円減少の3,169百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,125百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当58百万円があったものの、上述にある新規上場及び第三者割当増資に伴う新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ827百万円増加したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純利益516百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年5月15日公表の「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,726,936	3,166,924
受取手形及び売掛金	737,699	904,244
電子記録債権	205,838	225,170
商品及び製品	246,828	258,114
仕掛品	80,400	86,509
原材料及び貯蔵品	355,782	407,762
その他	82,373	56,899
貸倒引当金	△26,031	△1,992
流動資産合計	3,409,829	5,103,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,138,277	1,105,742
土地	599,172	599,172
その他（純額）	849,305	1,126,673
有形固定資産合計	2,586,755	2,831,588
無形固定資産	2,991	23,138
投資その他の資産	589,745	678,172
固定資産合計	3,179,492	3,532,899
資産合計	6,589,322	8,636,532

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	163,470	218,122
電子記録債務	83,147	89,462
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	56,863	37,788
賞与引当金	63,828	44,644
その他	380,902	386,070
流動負債合計	2,398,213	2,426,087
固定負債		
長期借入金	525,000	412,500
退職給付に係る負債	42,828	44,317
資産除去債務	38,851	75,728
その他	242,034	210,476
固定負債合計	848,715	743,022
負債合計	3,246,928	3,169,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,656	1,253,984
資本剰余金	325,806	1,153,134
利益剰余金	2,528,621	2,987,308
株主資本合計	3,281,083	5,394,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,951	3,210
為替換算調整勘定	58,358	69,784
その他の包括利益累計額合計	61,310	72,994
純資産合計	3,342,393	5,467,421
負債純資産合計	6,589,322	8,636,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,544,575	3,923,316
売上原価	2,234,538	2,223,047
売上総利益	1,310,036	1,700,269
販売費及び一般管理費	939,063	1,025,129
営業利益	370,973	675,139
営業外収益		
受取利息	507	694
受取配当金	84	84
受取賃貸料	8,427	8,427
持分法による投資利益	51,840	87,346
その他	5,913	5,062
営業外収益合計	66,773	101,616
営業外費用		
支払利息	16,612	21,727
支払手数料	21,497	9,613
その他	1,797	4,579
営業外費用合計	39,907	35,920
経常利益	397,839	740,834
特別利益		
固定資産売却益	-	1,660
特別利益合計	-	1,660
特別損失		
固定資産除却損	0	603
基幹システム変更に伴う損失	-	51,172
特別損失合計	0	51,776
税金等調整前四半期純利益	397,839	690,719
法人税等	190,700	173,722
四半期純利益	207,138	516,997
親会社株主に帰属する四半期純利益	207,138	516,997

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	207,138	516,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	258
為替換算調整勘定	38,298	11,425
その他の包括利益合計	38,427	11,684
四半期包括利益	245,566	528,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,566	528,681

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	1,406,963	1,233,191	904,420	3,544,575	—	3,544,575
外部顧客への売上高	1,406,963	1,233,191	904,420	3,544,575	—	3,544,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,406,963	1,233,191	904,420	3,544,575	—	3,544,575
セグメント利益又は 損失(△)	474,117	△178,467	368,921	664,572	△293,598	370,973

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△293,598千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	1,694,215	1,324,444	904,656	3,923,316	—	3,923,316
外部顧客への売上高	1,694,215	1,324,444	904,656	3,923,316	—	3,923,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,694,215	1,324,444	904,656	3,923,316	—	3,923,316
セグメント利益	587,045	224,432	260,638	1,072,116	△396,977	675,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△396,977千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月25日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年4月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行850,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ742,900千円増加しております。

また、2024年5月24日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出し）による新株式発行96,600株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ84,428千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,253,984千円、資本剰余金が1,153,134千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	200,532千円	267,091千円